

みんなで創った総合計画

「これまで」と「これから」

住みたいまちの姿

市民の皆さんが考える「住みたいまちの姿」を把握するため、市内173の団体や法人の皆さんとの意見交換会を開催しました。この会は、分野別の意見の違いを把握するため、健康福祉や産業、小さな子どもを持つ母親などの7つの分野別に17回開催し、513人が参加しました。

参加者は人口の推移などの統計データについて説明を受けた後、「住みたいまちの姿」、「その実現に向けてそれぞれができること」などのテーマについて、男女協働サロンの形で話し合いました。

出された全ての意見を多い順にする下記のとおりです。ただ分野別では職業や年齢、性別などの違いにより、意見の傾向が大きく異なりました。この結果を基に施策の方向性を検討することとしました。



働く母親を地域で支える仕組みがあるといい。
安心して子育てできる環境になると住みやすい。
母親自身もっと勉強しないといけないね。
小さな子どもを持つ母親の話し合い

- 参加者からだされた意見が多かった項目(1位~7位)
- 1 子ども(子育て)
 - 2 防災
 - 3 医療
 - 4 高齢者
 - 5 公共交通
 - 6 労働・雇用
 - 7 商業

市内団体との意見交換会

(25年7月~9月)

平成
25年4月
計画策定
スタート

審議会へ諮問

(25年7月)

(25年11月)

市民意識調査

満足度や重要度の分析

市民の皆さんが考える重要度や満足度を確認するため、毎年1400人を無作為抽出し、アンケート調査を実施しています。平成25年度調査では、市内出身の大学生や転出者へのアンケート調査を合わせて実施し、合計で988人から回答を得ました。



■定住意向が低い理由

- ①地震や津波などの脅威
- ②公共施設や商店がない
- ③医療や介護環境が悪い
- ④交通の便が悪い
- ⑤人間関係が煩わしい

- (転出者のアンケート)
- ①結婚を機に転出
 - ②地震津波などの脅威
 - ③働きたい会社・仕事がない
 - ④交通の便が悪い
 - ⑤子どもの教育に不安

- (学生アンケート)
- ①働きたい会社・仕事がない
 - ②交通の便が悪い
 - ③商業施設が少ない

市民討議資料作成

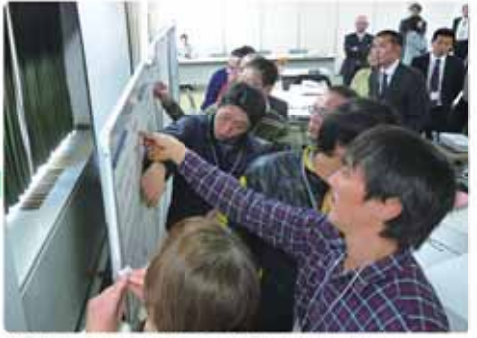
意見交換会と市民意識調査による1500人を越える市民皆さんの意見と行政が行った課題分析の結果は、計画策定の基礎資料となる「市民討議資料」としてまとめました。



各分野で活躍する市民による計画案の作成

策定された計画が、行政だけでなく市民、地域、団体、企業など市全体で推進されるものとするため、市内のさまざまな分野で活躍している約30人のメンバーで構成する市民会議「NEXTまきのほら」を設置し、専門分野の知識を生かしながら総合的な視点で具体的な計画案を議論しました。

会議は平成25年12月から26年5月までの半年間で合計5回開催しました。参加者の平均年齢は43歳で女性が4割を占めるなど、若者や女性が多く、毎回熱心で活発な議論が重ねられました。



第2回では重点的に取り組む分野に投票

この会議では、これまで集められた約1500人の意見の傾向をデータ化した市民討議資料を基礎として、住みたいまちを実現するために優先する取り組みや分野の方向性を議論しました。

■NEXTまきのほらの考える優先順位

順位	項目
1	子育て・教育環境の充実
2	発展的な土地利用
3	若者が暮らしやすい環境整備
4	防災対策の推進
5	魅力の創造と発信の強化
6	新エネルギーの推進
7	企業誘致・労働雇用の推進
8	超高齢化社会対策
9	公共施設のあり方
10	住民自治の強化

NEXTまきのほら①

(25年12月~26年5月)

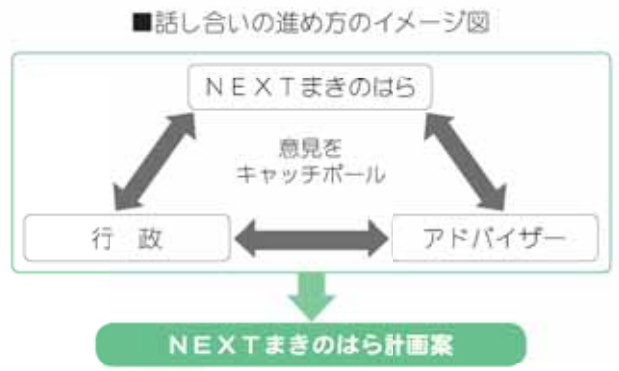
NEXTまきのほら②



第3回会議では個別分野の進め方を議論

「NEXTまきのほら」の会議では、専門性が高いアドバイザーが参加して話し合いをサポートするとともに、議論の結果を行政と協議して整理し、次回会議の検討資料として返す方法でまとめていきました。また、将来都市像の検討では、泰原高校、相良高校、静岡産業大学の協力を得て学生の意見を確認するなど、必要に応じて外部の意見を参考としました。

こうして、全5回の会議を通じて、施策の優先順位、個別施策の進め方、将来都市像を議論し、「NEXTまきのほら」の計画案ができました。



将来都市像の検討のため高校生(棟原高校・相良高校)の意見も確認

市を取り巻く多くの課題を解決し、「住みたい・住み続けたい」と思えるまちをつくるためには、行政だけでなく、市民みんなで取り組むことが必要です。来年度から始まる新たな総合計画を策定するに当たっては、多くの市民の皆さんに関わってもらいたいながらつくってききました。

問い合わせ 企画課 本間 ☎(23)0040